

環境活動への取り組み に対するご意見

九州電力環境顧問会	59
レポートの読者アンケート	61
お母さま方の環境意識	62
社員の環境意識	63
社外評価、社外表彰	64

長崎県 雲仙
長崎県仁田峠より登山道を行けば、
眼前に燃えるような紅葉の普賢岳が姿を現します。



九州電力環境顧問会

2007年5月21日(月)に「第7回 九州電力環境顧問会」を開催し、当社及び九電グループの環境問題への取り組みや「2007 九州電力環境アクションレポート」について、様々なご意見をいただきました。

ここで、九州電力環境顧問会委員の皆さま、及び環境顧問会開催時の主なご意見とその反映状況についてご紹介します。

九州電力環境顧問会委員

(50音順 敬称略)



あかぎ えい
赤木 衛
著述業



あさの なおひと
浅野 直人
福岡大学法学部
教授
中央環境審議会
委員



いしくぼ なほみ
石窪 奈穂美
生活
ジャーナリスト



おおつか まさお
大塚 政雄
環境省
環境カウンセラー
(市民部門)



おく まみ
奥 真美
公立大学法人
首都大学東京
都市教養学部
都市政策コース
教授



さわだ たかお
沢田 孝雄
読売新聞西部本社
事業本部長



つつい やすひこ
筒井 泰彦
エッセイスト



つるた さとし
鶴田 暁
九州地域環境・
リサイクル産業
交流プラザ
副会長



なかむら ひでたか
中村 英隆
おんが
遠賀信用金庫
理事長



ふくいずみ あきら
福泉 亮
福岡県立
修猷館高等学校
教諭



まるもと ふみのり
丸本 文紀
株式会社
県民百貨店
くまもと阪神
代表取締役社長



会議風景

「九州電力環境顧問会」でいただいた貴重なご意見については、今後の環境活動や環境アクションレポートの記載事項に反映させていただきます。

環境問題への取り組み

ご意見の概要	ご意見の反映状況
<p>◆CO₂排出原単位の低減</p> <p>○CO₂排出原単位の低減については、電力会社として責任を持ってしっかり取り組んでもらいたい。</p>	<p>○原子力発電の利用率向上や再生可能エネルギーの導入などを通じたCO₂排出原単位の低減はもとより、お客さまと一体となった電気の使用面での取り組みや京都メカニズムの積極的な活用などにより、CO₂排出抑制に最大限努力していきます。</p>
<p>◆原子力の情報公開</p> <p>○CO₂排出量を抑制させるためには、原子力の安全安定運転が不可欠。原子力に対する信頼が揺らいでいる時期だと思われるので、これまで以上に情報公開をしっかり行う必要がある。</p>	<p>○安全安定運転の実績を重ねることで、社会の皆さまに「安心」を抱いていただくとともに、皆さまの立場に立った丁寧な説明や、透明性の高い情報公開に引き続き努めることで、「信頼」の回復に寄せていきます。</p>
<p>◆国際貢献</p> <p>○光化学スモッグ注意報発令に関する記述があるが、この事象は越境環境汚染を示すものである。「九州電力の思い」にあるように、アジアや世界を見据えた国際貢献の観点から、このような環境問題の解決に向けてリーダーシップを示すべき時期にきたのではないかと。</p> <p>○世界的な課題である環境問題解決のためには、国際的な環境スペシャリストの育成が重要。日本に受け入れて教育するだけでなく、海外において直接教育するなど、国際化を含めた人材育成に努めてほしい。</p>	<p>○ガスコンバインドサイクル方式によるIPP事業や省エネコンサルティング事業、人材育成に資するJICA等の機関を通じた専門家派遣などの国際貢献活動については、引き続き積極的に展開するとともに、今後も環境アクションレポート等を通じたPRに努めていきます。</p>
<p>◆環境コミュニケーション</p> <p>○環境コミュニケーションの更なる推進のためには、コミュニケーションを面的に拡げる努力とともに、環境アクションレポート等をより多くの方々に読んでいただく努力も必要である。</p>	<p>○社員の環境コミュニケーションツールの一つとして、環境アクションレポートのポイントを要約した電子パンフレットを全社員に周知、活用することで、「九州電力の思い」実現に向けた環境コミュニケーションの充実と全社員を通じた環境アクションレポートの認知度向上を図っていきます。</p>
<p>◆環境教育支援</p> <p>○環境・エネルギー教育の一環として、展示施設等を見学した子供たちに感想画等を描いてもらい、展示会等を開催すれば、九州電力への親しみも増すのではないかと。</p>	<p>○作文や図画などを夏休みなどに募集する「子供のコンクール」を各支店レベルで開催していることから、これらの更なるPRに努めていきます。</p>
<p>◆環境意識高揚</p> <p>○環境意識高揚のためには、繰り返し同じことを言うことが大切であり、社員の更なる啓発を行うとともに、お客さまの意識高揚に資する情報の提供にも努めてほしい。</p>	<p>○EMSの事業所支援や環境ダイジェスト等の充実・活用により、引き続き社員意識の高揚に努めていきます。また、環境月間講演会など従来からの取り組みに加え、今回新たに作成した「お客さま向けの小冊子」を今後積極的に活用していくことにより、お客さまの意識高揚に資する情報提供にも努めていきます。</p>

環境アクションレポート・小冊子

ご意見の概要	ご意見の反映状況
<p>◆環境会計</p> <p>○環境活動コストにおける「投資」と「費用」の考え方が明記されておらず、区分が不明瞭である。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、注釈欄に、「投資」と「費用」の定義を追記しています。</p>
<p>◆電源ベストミックス</p> <p>○何故原子力を中核とせざるを得ないのか、フランスのエネルギー（電気新聞特別号）等を参考にして、理論立ててわかりやすく説明すべき。</p>	<p>○各電源の特性をまとめた一覧表などに加え、今回より、ハイライト「CO₂排出抑制対策」を新たに設け、電源ベストミックスへの取り組みに関する記載内容の充実を図っていますが、ご意見を踏まえ、最新の国内外情勢等を加味しながら、環境アクションレポートに限らずあらゆるコミュニケーションツールを通じて、よりわかりやすい説明に引き続き努めていきます。</p>
<p>◆お客さま向け小冊子</p> <p>○九州エネルギー館などの九州電力の展示施設の紹介や申込方法などを掲載してほしい。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、外観写真や住所、開館時間、連絡先等を記載した展示施設の紹介ページを追加しています。</p>